

A.I.Viewlifeのご紹介

「自立支援と重度化防止の実現」
「介護人材の確保と生産性の向上」



必要情報のみ表示

生体異常を最優先告知

広角IRセンサー

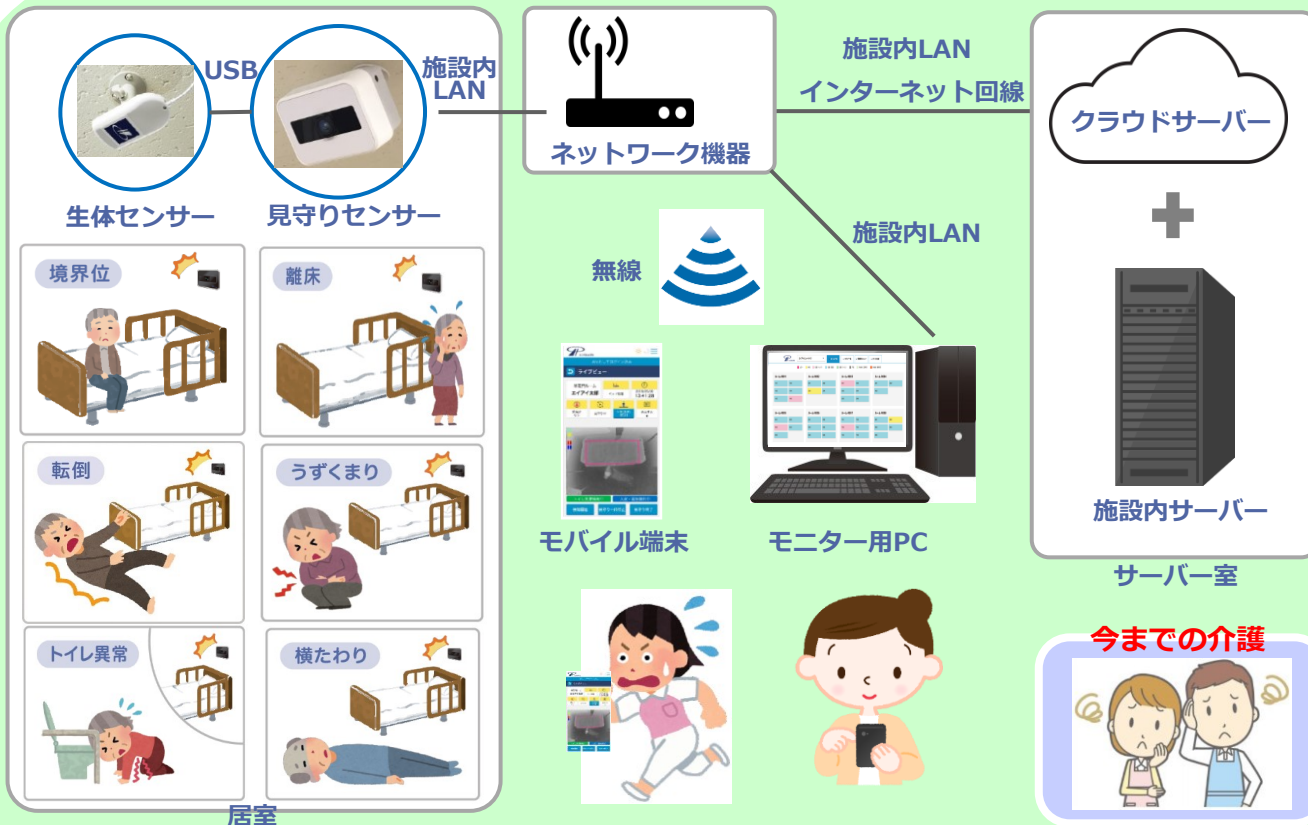
視覚的に行動を把握

非接触型見守りセンサー

非接触型生体センサー

The image illustrates the A.I.Viewlife system components. On the left, a monitor displays a software interface with a table of data and a video feed. A wide-angle IR camera is positioned in front of the monitor. A mobile device shows a notification for '生体異常を最優先告知' (Biological abnormality notification). A non-contact body sensor is mounted on the wall. A green plus sign indicates the combination of the camera and the body sensor. The text '必要情報のみ表示' (Display only necessary information) is shown in a purple circle. The text '視覚的に行動を把握' (Visually grasp actions) is shown in a purple circle. The text '広角IRセンサー' (Wide-angle IR sensor) is shown in a purple circle. The text '生体異常を最優先告知' (Biological abnormality notification) is shown in a purple circle. The text '非接触型見守りセンサー' (Non-contact monitoring sensor) is shown in a blue box at the bottom left. The text '非接触型生体センサー' (Non-contact body sensor) is shown in a blue box at the bottom right.

システム構成：見守りセンサー＋生体センサー



ICT技術機器となるため、最低限のネットワーク環境が必要となります。

製品紹介：特長① 業界初広角IRセンサー搭載

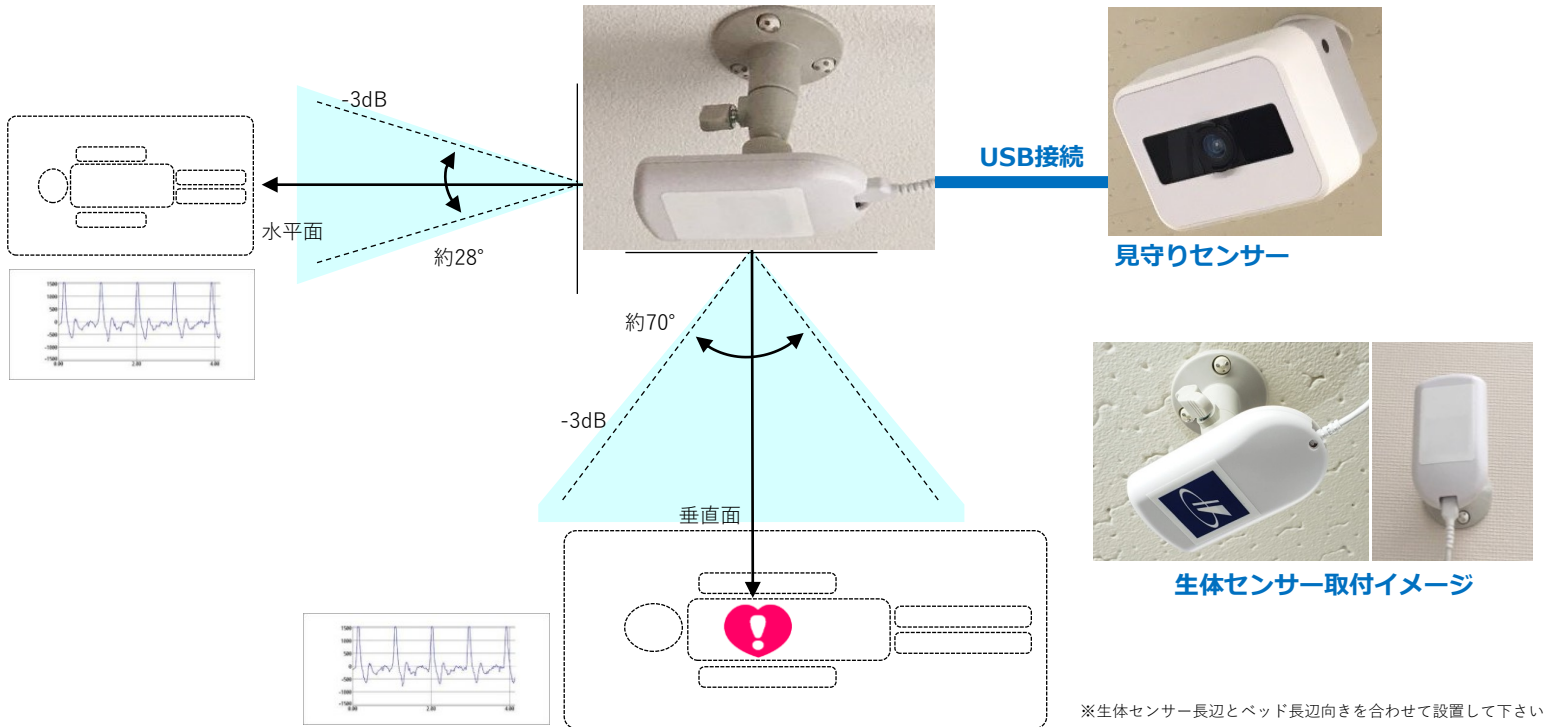
広角赤外線レーザー（TOF方式）の採用

- ・昼夜問わず見守り（検知・映像閲覧）が可能
- ・3次元距離データ（ x,y,z 座標）を用いた高精度検知アルゴリズム
- ・プライバシー保護された画像（個人情報漏洩防止）



製品紹介：特長② 非接触型生体センサー

24Ghz帯のマイクロ波を用いた生体センサーであり、指向性を持った照射角（水平：28度、垂直：70度）と照射距離3mにより、ベッドエリアに限定した生体異常（呼吸・体動）を検知することができます。



製品紹介：特長③ 多様な行動検知（ユニット型）

● 広角IRセンサー搭載

● 検知アルゴリズム搭載

● 生体モニター搭載



ユニット型

ずり落ち

起き上り

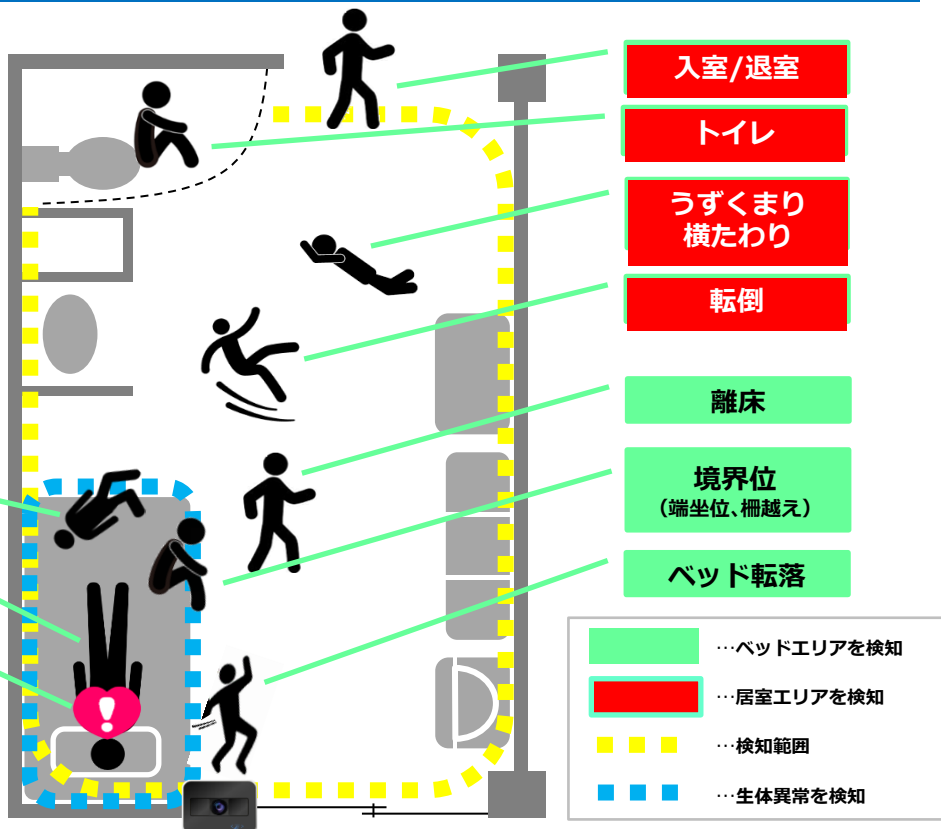
生体センサー
(生体異常)



広角IRセンサー



生体センサー

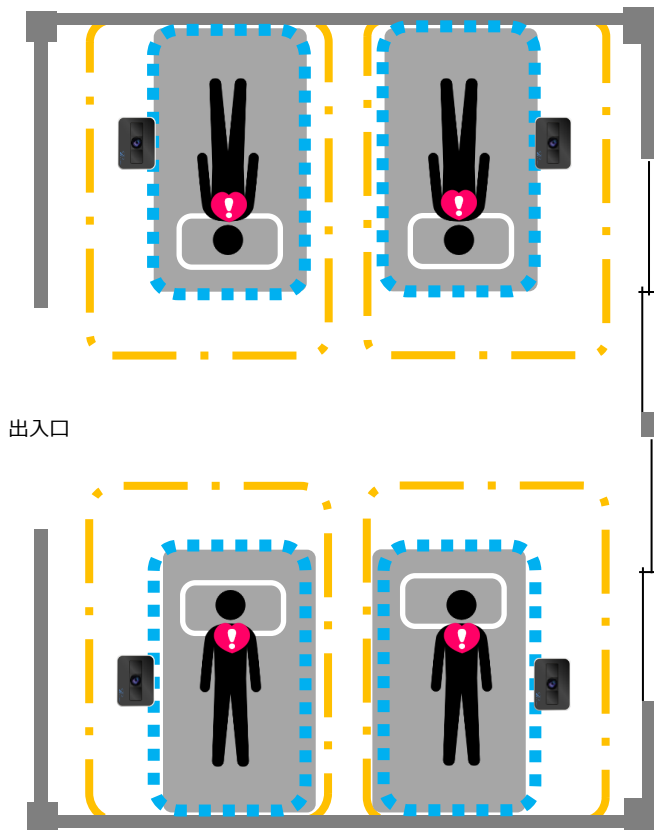


製品紹介：特長④ 多様な行動検知（多床室型）

● 広角IRセンサー搭載

● AI検知アルゴリズム搭載

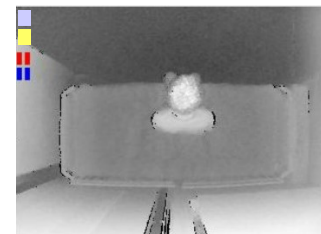
● 新生体モニター搭載



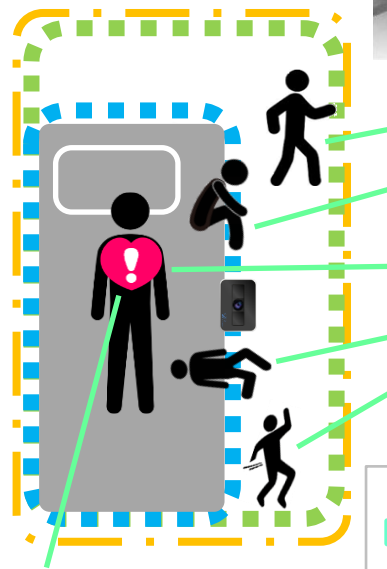
広角IRセンサー



生体センサー



多床室型



離床

境界位
(端坐位、柵越え)

起き上り

ずり落ち

ベッド転落

生体センサー
(生体異常)

- ...ベッドエリアを検知
- ...生体異常を検知
- ...多床室型の検知範囲
- ...生体異常の検知範囲
- ...カーテンレール

製品紹介：特長⑤ 位置情報の見える化

＜インジケータ表示例（上段：動体の場所、下段：最頂点の高さ）＞

上段

- 紫 : ベッド エリア
- 桃 : 境界位 エリア
- 緑 : 居室 エリア

下段

- 橙 : 立位 高さ
- 黄 : 座位 高さ
- 水 : 臥位 高さ

広角IRセンサ

紫 **上段** : エリア

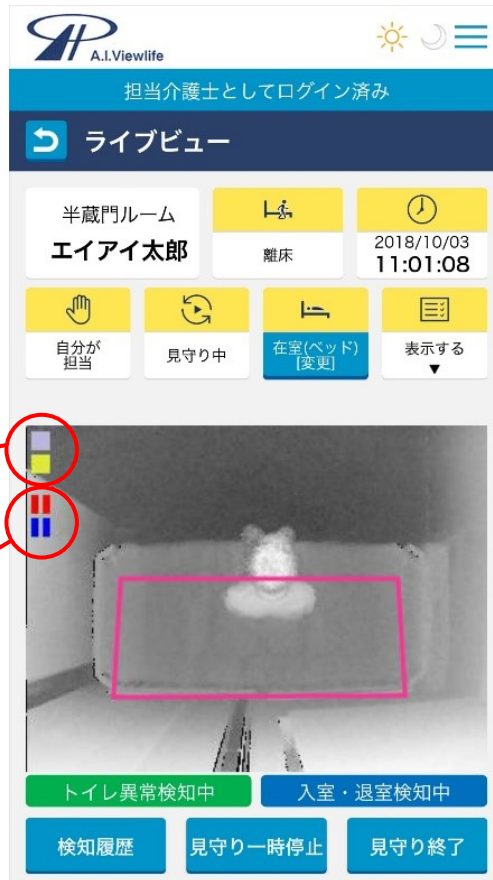
黄 **下段** : 高さ

生体センサー

上段 : 呼吸

下段 : 体動

- : 低い
- : 標準
- : 高い



ベッドエリア

- 紫 立位
- 橙 起き上り
- 紫 臥位
- 黄
- 水

境界位エリア

- 桃 境界位 (端座位/柵越え)
- 黄
- 桃 ずり落ち
- 水

居室エリア

- 緑 立位
- 橙
- 緑 うずくまり/ベッド転落
- 黄
- 緑 横たわり/ベッド転落
- 水

製品紹介：特長⑥ トイレ異常検知

➤ 見守り設定> トイレ設定> 時間設定> 設定時間超過後に通知

①



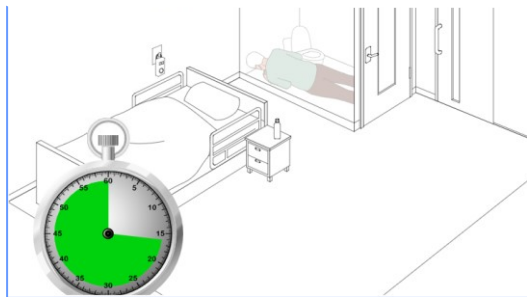
トイレに入ったので
タイマースタート



タイマー内にトイレを済ませた為
問題なし

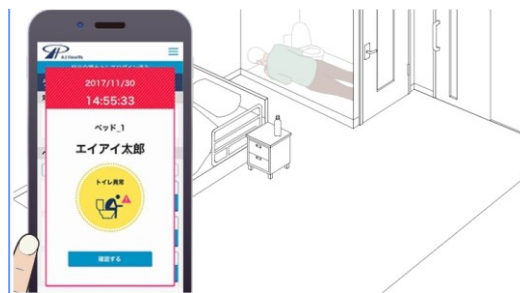
②

通知設定の20分が経過・・・



③

状況確認の為、通知！！



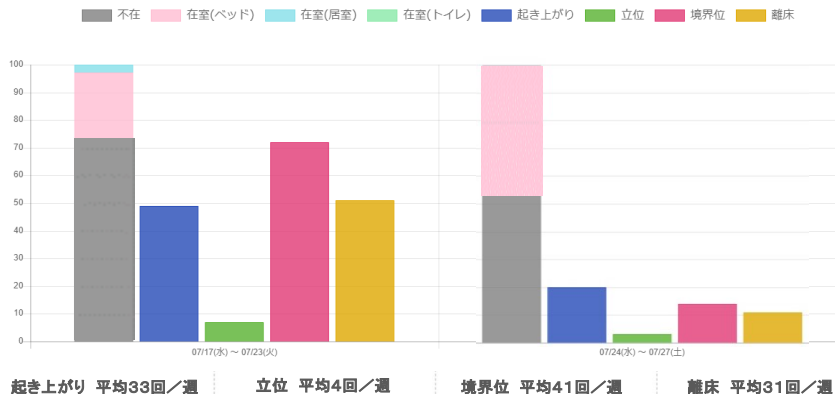
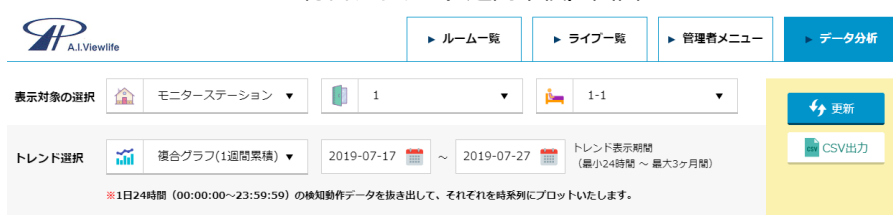
製品紹介：特長⑦ 生活動作の見える化

生活動作における検知履歴から入居者毎の活動レベルを定量化することにより、容易に活動レベルの変化を把握することができます。

<検知履歴一覧 (CSV) >

| ルーム名 | 検知日時 | 検知動作 | 居室状態 | 対応状況 |
|------|---------------------|-------|---------|------|
| 201 | 2019年5月15日 3:17:15 | 起き上がり | 在室(ベッド) | |
| 201 | 2019年5月15日 3:15:58 | 起き上がり | 在室(ベッド) | 済(正) |
| 201 | 2019年5月14日 22:36:38 | 退室 | 在室(居室) | |
| 201 | 2019年5月14日 22:35:13 | 入室 | 在室(居室) | 済(正) |
| 201 | 2019年5月14日 7:34:43 | 離床 | 在室(居室) | |
| 201 | 2019年5月14日 7:34:08 | 起き上がり | 在室(ベッド) | 済(正) |
| 201 | 2019年5月14日 7:33:41 | 起き上がり | 在室(ベッド) | |
| 201 | 2019年5月14日 1:09:43 | トイレ異常 | 在室(トイレ) | 済(正) |
| 201 | 2019年5月14日 0:49:43 | 離床 | 在室(居室) | |
| 201 | 2019年5月14日 0:48:22 | 境界位 | 在室(ベッド) | |
| 201 | 2019年5月14日 0:47:48 | 起き上がり | 在室(ベッド) | 済(正) |

<総合グラフ (1週間累積) 画面>



活動レベル低下の早期発見

製品紹介：特長⑧ ディープデータ活用

見守りシステムのクラウド化

業務の見える化・経営効率化のために



クラウド化・ICT / RT 技術で、施設内の生体情報・生活動作情報・介護情報をビッグデータとして活用することで、施設・被介護者のご家族・社会を通じての見守りが可能になります。

被介護者の生体・動作の検知・予測



ご家族の見守り参加



ビッグデータ活用で予防医学の研究・診断サービス等の実現



機器による
見守り

機器への
機能追加

付加価値
サービス

ICT / RT 技術

施設内の
情報収集

データ分析

複数施設の統合管理で管理者削減

管理業務の一元化



セキュリティ/監視モニター

被介護者の生活リズム
把握で介護業務効率化

生活不活発病の視覚化

重大疾患の早期発見
(脳梗塞・心筋梗塞など)

● 夜間勤務の負荷低減

居室内での在室および生体確認ができることから、夜勤巡回の回数を削減することができる

● 転倒・転落事故件数の減少

危険予兆動作の検知による事前対応と危険動作の検知による救急対応ができる
また、居室の危険因子を事前に回避することができる

● ナースコールの回数減少

居室内での生活動作を把握することにより、入居者がナースコールする前にスタッフが訪室する

● 訪室回数の低減

居室内が見えることにより、検知時や気になる時の不要な訪室を回避できる

● ストレス軽減

居室内が見えることにより、様々な精神的ストレスが軽減される

● 訴訟リスクの回避

検知履歴情報は保存されるため、事故発生時のエビデンスとなる
また、看取りに関しては生体異常として検知される

● 今後の保険制度改定対応

要介護度を改善した事業所に対するインセンティブと介護ロボット導入に対するインセンティブへの対応ができる

1. 本資料は、お客様に用途に応じた適切な弊社製品をご購入いただくための参考資料であり、本資料中に記載の技術情報について弊社または第三者の知的財産権その他の権利の実施、使用を許諾または保証するものではありません。
2. 本資料に記載の製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズムなど全ての情報の使用に起因する損害、第三者の知的財産権その他の権利に対する侵害に関し、弊社は責任を負いません。
3. 本資料に記載の製品の機能及びその効果は、弊社実験施設、又は弊社納品先施設において確認しておりますが、弊社の製品の使用環境（建物、通信設備、広さ、周囲の条件他）および使用方法により、お客様の期待を十分に満たせない場合があります、これらの要因で発生した損害等につきましては、弊社は一切の責任を負いません。弊社の製品をご購入いただく際は、慎重に吟味のうえご判断をお願いいたします。
4. 本資料に記載の製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズムなどの全ての情報は本資料発行時点のものであり、弊社は本資料に記載した製品または仕様等を予告なしに変更することがあります。弊社の製品のご購入およびご使用に当たりましては、事前に弊社営業窓口で最新の情報をご確認頂きますとともに、弊社ホームページ(<http://aiview.life>)などを通じて公開される情報に常にご注意下さい。
5. 本資料に記載した情報は、正確を期すため慎重に制作したのですが、万一本資料の記述の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、弊社はその責任を負いません。
6. 本資料の全部または一部を弊社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断り致します。
7. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせ、その他お気づきの点等がございましたら弊社営業窓口までご照会下さい。